

令和5年度 学校保護者会資料

「つながり」を

「未来に実感」させる

学校の創造



令和5年5月13日
広州日本人学校
校長 加藤 康徳

コロナ禍～令和5年3月



レベル	内容 ※いずれかの項目が1以上当てはまる場合
0	○中国行政府による安全宣言 が出されている。
1	○中国各地で 「輸入症例」 が確認されている。 ○広東省以外で「本土感染」が発生している。 ○レベル解除後も1週間は継続する。
2	○広東省内で「本土感染」が発生する。 ○レベル解除後も1週間は継続する。
3	○広州市内で「本土感染」が発生する。 ○レベル解除後も1週間は継続する。
4	○天河区、及び黄埔区で 「本土感染」が発生する。 ○レベル解除後も1週間は継続する。
5	○教育局 からの休校指示 ※どのレベルであっても 優先します。 ○校車バスの運休 ※新型コロナ関連での ドライバーの手配不可 ○近隣学校が休校 (2 校以上)

コロナ禍～令和5年3月



レベル	内容
0	○中国行政府
1	○中国各地で



可

コロナ禍～令和5年3月



レベル	内容 ※いずれかの項目が1以上当てはまる場合
0	○中国行政府による安全宣言が出されている。
1	○中国各地で「輸入症例」が確認されている。 ○広東省以外で「本土感染」が発生している。 ○レベル解除後も1週間は継続する。
2	○広東省内で「本土感染」が発生する。 ○レベル解除後も1週間は継続する。
3	○広州市内で「本土感染」が発生する。 ○レベル解除後も1週間は継続する。
4	○天河区、及び黄埔区で「本土感染」が発生する。 ○レベル解除後も1週間は継続する。
5	○教育局からの休校指示 ※どのレベルであっても優先します。 ○校車バスの運休 ※新型コロナ関連でのドライバーの手配不可 ○近隣学校が休校 (2校以上)

やる！

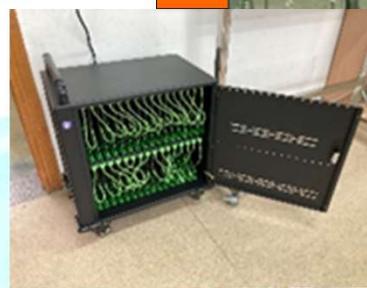


やらない！

コロナ禍～令和5年3月



レベル	内容
0	○中国行政府
1	○中国各地で



可

1. 先生とのつ
ながり

5. 中国とのつ
ながり

2. 授業とのつ
ながり

3. 友だちとのつ
ながり

4. 保護者・日本人社
会とのつながり



- 1 広州日本人学校の先生から学んで良かった。
- 2 広州日本人学校の友だちや仲間と学べて良かった。
- 3 広州の地域で学んで良かった。
- 4 広州日本人学校から転学・進学できて良かった。
- 5 広州日本人学校で学んで良かった。

「**未来**」に、このような「**学び**」を子どもが「**実感**」してくれる学校を創る。

広州日本人学校の教育目標

- 自ら学び、
個性豊かに
国際社会に生きる
児童生徒の育成

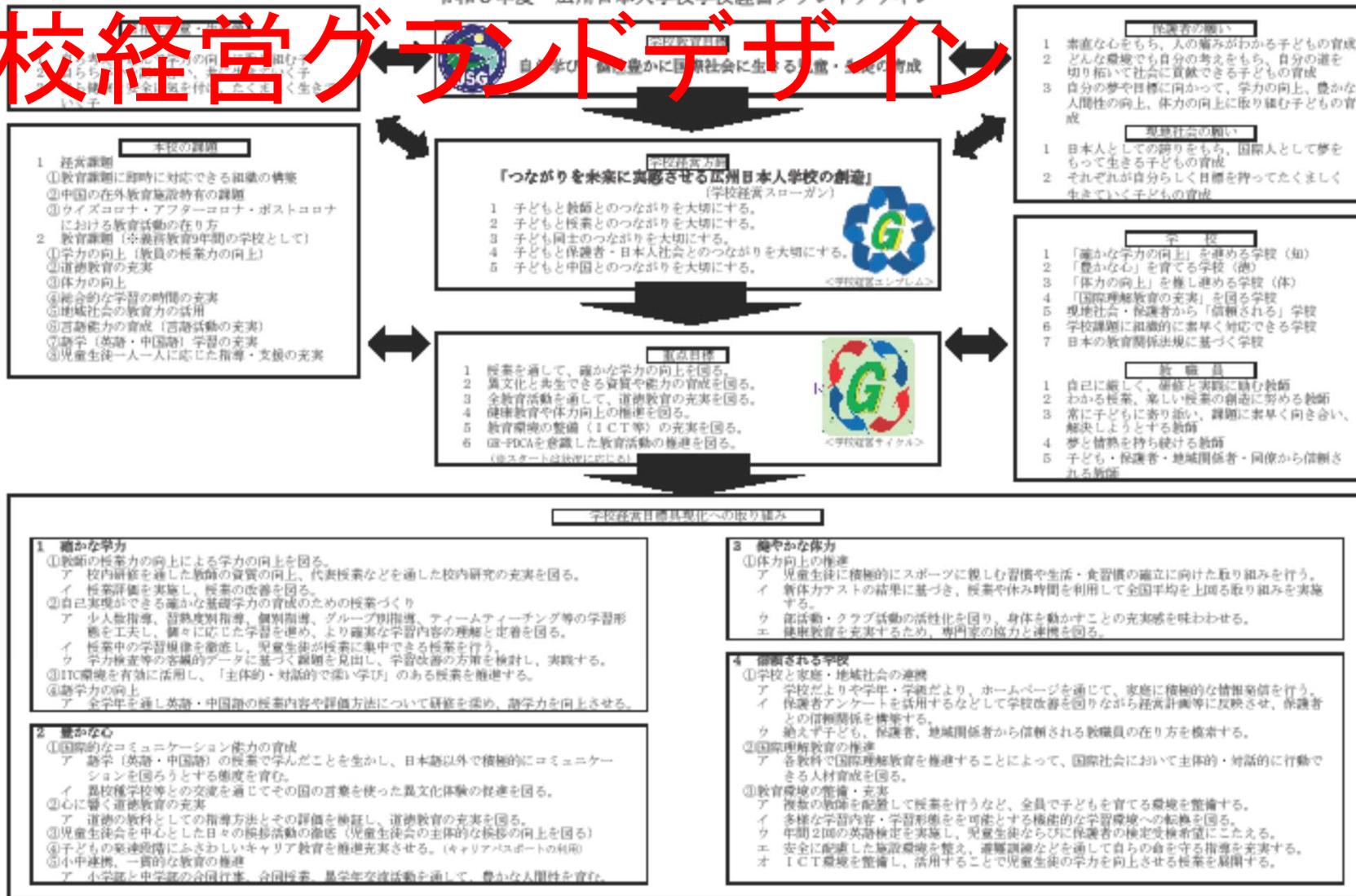
広州日本人学校の目指す子ども像

○自ら考え、進んで学力の向上に取り組む子

○自ら違いを認め合い、ともに生きていく子

○自ら健康と安全に気を付け、たくましく生きていく子

学校経営グランドデザイン



1. ICT環境の充実

「主体的・対話的で深い学び」のある授業の推進

2. 語学力の向上

○英語と中国語の充実



3. ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた国際理解教育の推進

○外部との積極的な交流



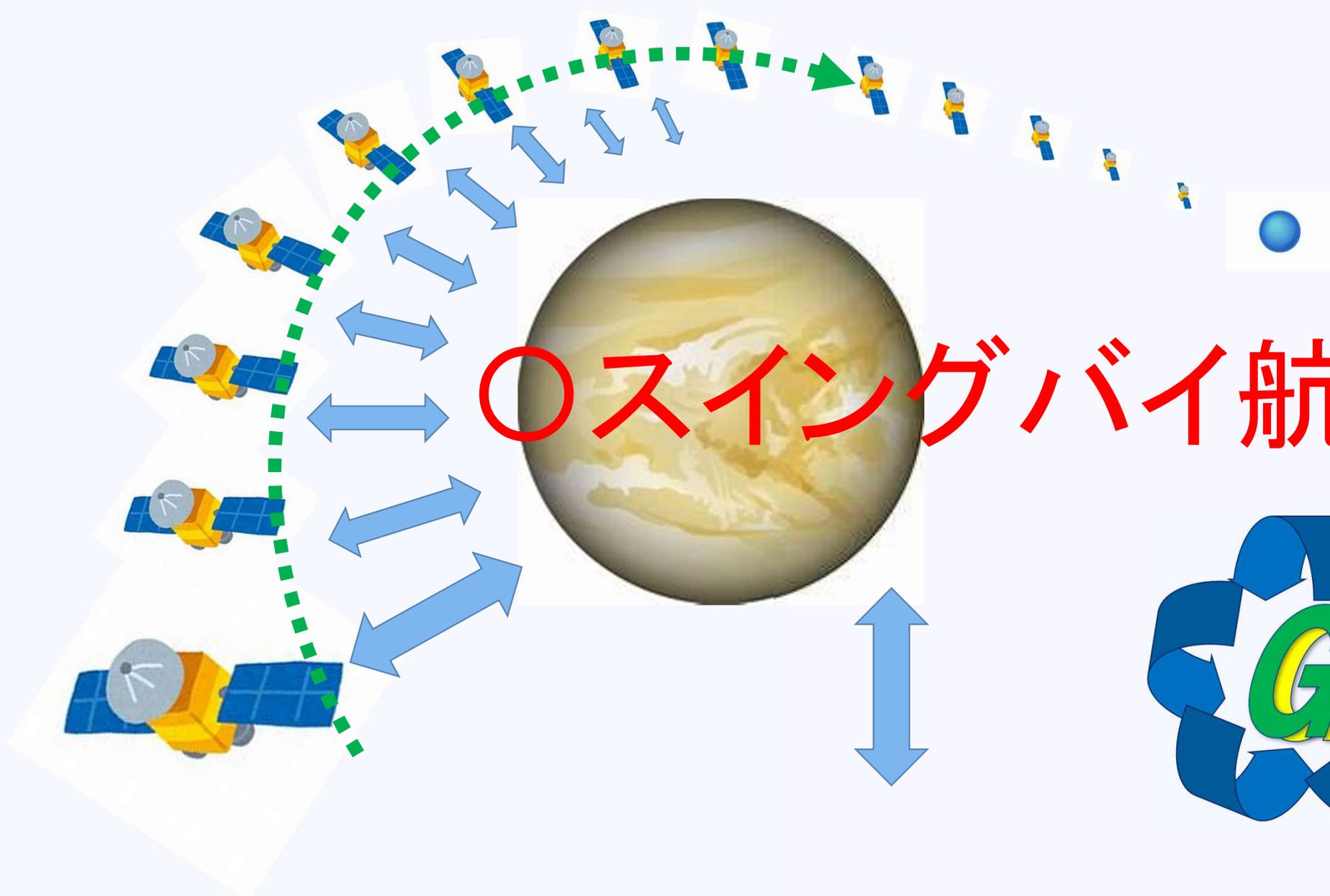
お願いです。

- 具体的な取組は各学級で実施
- ホームページ等で公開
- 子どもとの会話

イメージ 1



○スイングバイ航法



イメージ 2





学校は、子どもたち
にいろいろな花を咲
かせてあげる場所
です。



でも、学校が子どもたちに実をつけさせる必要は無いです。



学校は、実を自分で
つけることができる花
を子どもに咲かせま
す。

咲く花が違えば、つ
ける実も違います。



人々がいろいろいろいろな花、
そしていろいろいろいろな実を
つける社会





それが、本校の教育
目標にある「個性豊
かな国際社会」です。



やがて、子どもは自
分で花を咲かせ、実
をつけることができる
ようになります。



それが、本校の教育
目標にある「生きる力
＝持続可能な社会」
です。

広州市は「花城」とも
言われる街です。





この「花城」とも言わ
れる街で、子どもたち
にいろいろな花を咲
かせたいです。

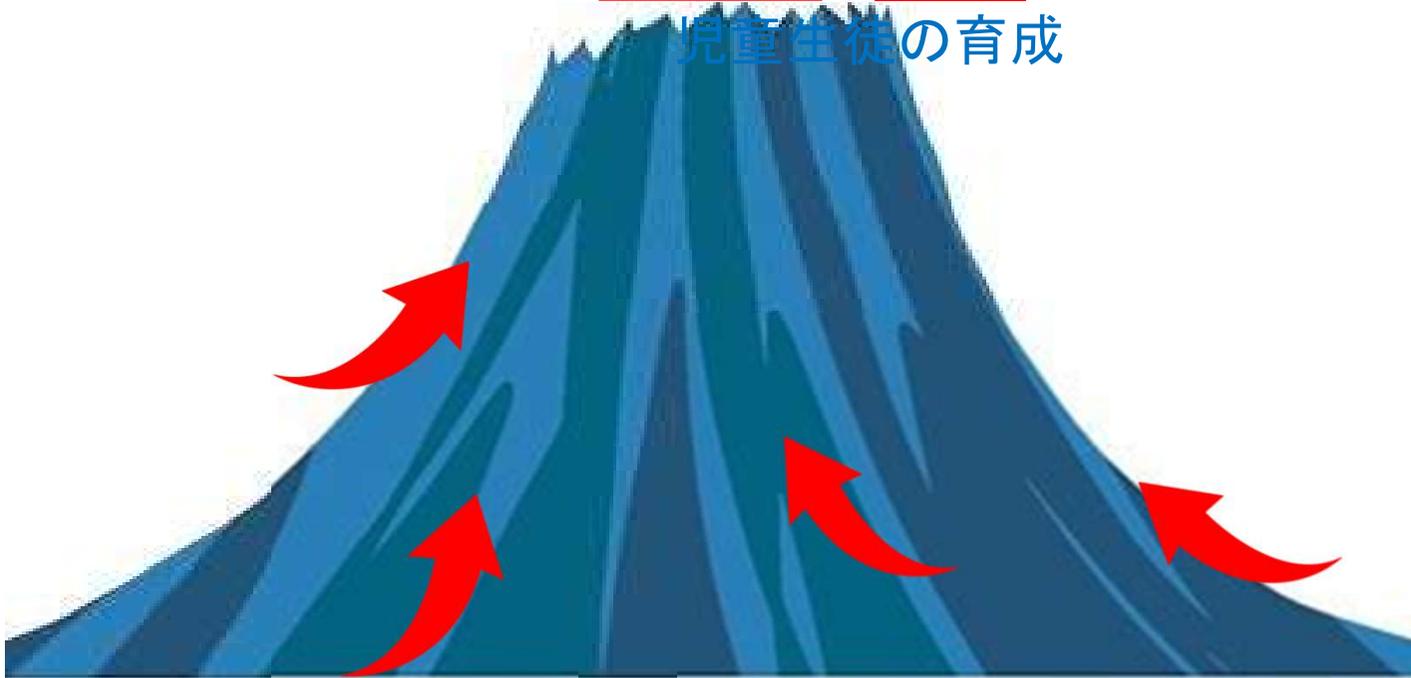


広州日本人学校の教育目標

- 自ら学び、
個性豊かに
国際社会に生きる
児童生徒の育成

広州日本人学校の教育目標

- 自ら学び、
個性豊かに
国際社会に生きる
児童生徒の育成



広州日本人学校の教育目標

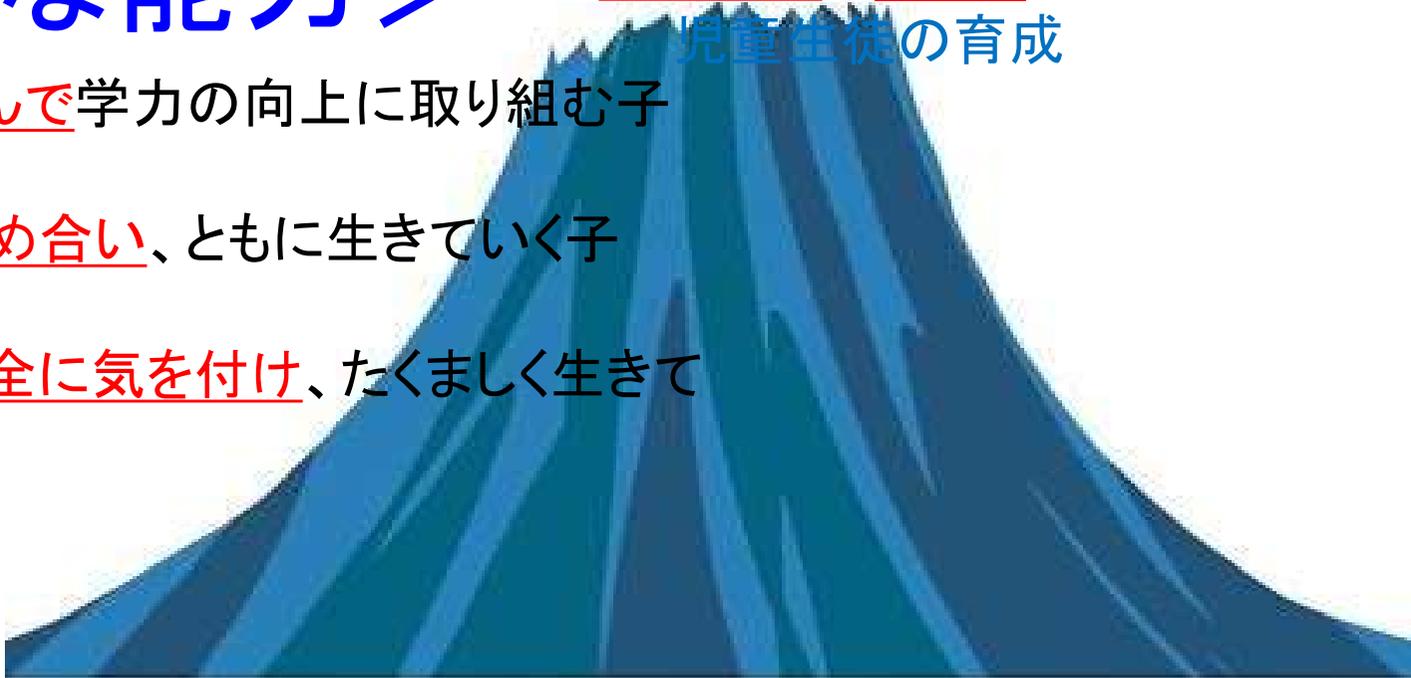
○自ら学び、
個性豊かに
国際社会に生きる
児童生徒の育成

<必要な能力>

○自ら考え、進んで学力の向上に取り組む子

○自ら違いを認め合い、ともに生きていく子

○自ら健康と安全に気を付け、たくましく生きていく子



令和5年度 学校経営方針

「つながり」を

「未来に実感」させる

学校の創造

